

NEWS LETTER

横浜災害ボランティアネットワーク会議



編集・発行：横浜災害ボランティアネットワーク会議

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター8階
社会福祉法人横浜市社会福祉協議会内

TEL 045-201-8620 FAX 045-201-1620

ホームページ / <http://www.yokohama-saigai-vol-net.jp/>

2008年8月発行 No.38

横浜災害ボランティアネットワーク会議 総会開催される

事務局が横浜市社会福祉協議会へ移管

平成20年度総会が、6月4日（水）に桜木町駅前の横浜市健康福祉総合センターで開催されました。当日は、現会員数92のうち委任状の提出も含めて64名の参加により、熱心な協議をいただきました。

横浜災害ボランティアネットワーク会議の事務局は、ネットワーク会議が阪神淡路大震災の翌年（平成8年）に設立されて以来、横浜市青少年育成協会が担ってきました。昨年の総会で事務局移管の検討が事業計画として承認されてから、運営委員会のなかで事務局移管について協議され、横浜市社会福祉協議会を新しい事務局として推薦したいとの提案がありました。

この提案を受けて本総会における審議で、事務局が横浜市社会福祉協議会に移管されることが正式に決定いたしました。



運営委員会の構成団体が拡充へ

運営委員会はこれまで11団体で運営してきましたが、区ネットワークを含めた組織運営体制の強化を図っていくため、平成20年度～21年度は新たに6団体に加わっていただき次の16団体が運営委員会を構成することになりました。

運営委員会構成団体

財団法人横浜YMCA

ガールスカウト横浜市連絡協議会

神奈川県生活協同組合連合会

財団法人横浜市国際交流協会

社団法人横浜市身体障害者団体連合会

学校法人岩崎学園

鶴見区災害ボランティアネットワーク

港北区災害ボランティア連絡会

金沢区災害ボランティアネットワーク

(新) ボーイスカウト横浜市連合会

(新) 緑区防災ネットワーク委員会

(新) 横浜栄・防災ボランティアネットワーク

(新) 磯子区災害ボランティアネットワーク

(新) 保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク

(新) 泉区災害ボランティア連絡会

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会

役員（代表および監事）が選任

横浜災害ボランティアネットワーク会議の代表に、引き続き社団法人神奈川県青少年協会の吉村恭二理事長が選任されました。

また、新しい監事には社会福祉法人横浜市鶴見区社会福祉協議会および財団法人神奈川県新聞厚生文化事業団の2団体に就任いただくことになりました。

インフォメーション

横浜ライフデザインフェア2008 出展 — 9/20、21 —

横浜ライフデザインフェア2008は、「50代からはじめる あなたへの100の提案」をサブタイトルに、企業・市民活動団体・行政などが協働し、横浜で身近に参加できるボランティア活動や地域の魅力、知っておきたい生活情報など、新たな人生設計のためのヒントを提案します。

横浜災害ボランティアネットワーク会議では、「提案ゾーン」にて、市民の災害救援に対する興味や関心を高めるよう、活動の展示を行ないます。また、「市民活動スペース」には、市内で活動する40の市民活動団体が出展します。

日時：平成20年9月20日(土)、21日(日) 10:00～18:00 (21日は17:00まで)

会場：パシフィコ横浜展示ホールD (みなとみらい線みなとみらい駅から徒歩3分)

入場料：無料

主な対象：団塊の世代、その前後の世代の市民

ステージの主な企画：

20日(土) 14時～16時 パネルディスカッション

(横浜市長、阿木燿子氏(作詞家・作家)、渡辺裕之氏(俳優))

21日(日) 13時～「ビートルズ10」公開録音(ムッシュかまやつ氏、杉真理氏ほか)、

15時～「横浜スポーツークライブ2008」公開録音(徳光和夫氏、中畑清氏、千葉真子氏ほか)

横浜ライフデザインフェア運営事務局 TEL:045-681-3733 FAX:045-681-3735

<http://www.yokohamalifedesignfair.com/>

「わが子を災害から守るために」教材づくりの助成金が決定 —横浜栄・防災ボランティアネットワーク—

6月29日、横浜栄・防災ボランティアネットワークが男女共同参画センター横浜(運営:(財)横浜市男女共同参画推進協会)が募集した2008年度啓発教材開発事業の協働団体に選ばれました。

啓発教材のテーマは「わが子を災害から守るために」。横浜栄・防災ボランティアネットワークでは出前講座「いのちを守る防災講座」を地域で開催。その中の乳幼児の保護者向け講座「パパとママの防災講座」では、乳幼児に配慮した日常の準備と近隣の関係の大切さを中心にお伝えしています。冊子は、保護者からの声を集めたアンケート結果を元に、これまでの講座内容や新情報を入れた24ページの教材になる予定。防災講座の資料として使われるほか、災害をイメージし防災行動へ導く啓発教材として、各区の危機管理担当へ配布予定です。(完成予定2009年3月)

横浜栄・防災ボランティアネットワーク http://www5.ocn.ne.jp/~houzan/bousai_kenkyukai.htm

災害救援ボランティア講座 (横須賀市)

日時：9月30日(火) 9:30～16:10

10月1日(水) 10:30～16:00

10月2日(木) 9:00～17:00

会場：横須賀市消防総合訓練センター

定員：40名

対象：原則として神奈川県在住・在勤・在学の方

※高校生は保護者の承諾が必要。実践的訓練が約12時間あり、身体的に負担が大きいと判断した方は主催者からお断りする場合があります。

参加費：1人13,900円/学生1人9,900円 (教科書代・保険料として)

申込み方法：専用の【講座申込書】に必要事項を記載の上、下記へ郵送またはFAX。

※受付は申し込み順とし、定員を超えた場合は次回以降の講座にて優先的に受付をします。

災害救援ボランティア推進委員会

〒107-0052 東京都港区赤坂2-16-5 赤坂Tガーデンビル

TEL：03-3584-4085 (代) FAX：03-3589-1703 <http://saigai.or.jp/>

義援金情報

共同募金会で募集中の情報です。義援金の振込先等はHPでご確認いただくか、各共同募金会へ直接お問合せください。

義援金の名称	問合せ先
富山県7月大雨災害義援金	富山県共同募金会 http://www.akaihane-toyama.or.jp TEL:076-431-9800 FAX:076-432-6551 ※平成20年9月30日(火)まで
金沢豪雨災害義援金	石川県共同募金会 http://www.akaihane-ishikawa.or.jp TEL:076-224-1212 FAX:076-222-8900 ※平成21年1月30日(金)まで
平成20年岩手・宮城内陸地震義援金	中央共同募金会 http://www.akaihane.or.jp TEL：03-3581-3846 FAX：03-3581-5755
平成19年新潟県中越沖地震義援金	新潟県共同募金会 http://www.h7.dion.ne.jp/~ni-kyobo TEL:025-281-5532 FAX:025-281-5533 ※平成21年1月16日(金)まで

横浜災害ボランティアネットワーク会議は、皆さんの会費で支えられています ご協力ありがとうございました！ (平成20年4月1日～7月25日までの会費納入者)

財団法人横浜YMCA/神奈川県生活協同組合連合会/横浜商工会議所/ボーイスカウト横浜市連合会/ガールスカウト横浜市連絡協議会/横浜市健民少年団/財団法人横浜市男女共同参画推進協会/財団法人神奈川新聞厚生文化事業団/横浜市民生委員児童委員協議会/財団法人横浜市老人クラブ連合会/社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団/生活協同組合コープかながわ/全日本海員生活協同組合/横浜市立大学生生活協同組合/全労済神奈川県本部/のんきなのおちゃん人形劇団/フェリス学院大学ボランティアセンター/横浜市青葉国際交流ラウンジ/特定非営利活動法人あしほ/港北区災害ボランティア連絡会/保土ヶ谷区国際交流の会/青葉区民会議/鶴見区災害ボランティアネットワーク/金沢区災害ボランティアネットワーク/横浜栄・防災ボランティアネットワーク/泉区災害ボランティア連絡会/とつか

災害救援活動ネットワーク/社会福祉法人横浜市鶴見区社会福祉協議会/社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会/社会福祉法人横浜市西区社会福祉協議会/社会福祉法人横浜市南区社会福祉協議会/社会福祉法人横浜市港南区社会福祉協議会/社会福祉法人横浜市旭区社会福祉協議会/社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会/社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会/社会福祉法人横浜市緑区社会福祉協議会/社会福祉法人横浜市都筑区社会福祉協議会/社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会/社会福祉法人横浜市栄区社会福祉協議会/社会福祉法人横浜市泉区社会福祉協議会/成田眞啓/山本克之/八尋真三味/野口幸子/千葉 宰/落合明人/長谷川啓治/高橋真理子【順不同・敬称略】

